

令和4年度監査結果報告書（市立小中学校定期
監査）に基づく改善策及び顛末

令和4年11月

糸島市

令和4年度監査結果報告書（市立小中学校定期監査）に基づく改善策及び顛末

指摘事項及び意見等	主管課における措置、処理の経過及び対応策
<p>■監査結果報告書（市立小中学校定期監査）</p> <p>第7 監査の結果</p> <p>2 監査委員の意見</p> <p>非常変災時の対応については、各学校とも危機管理マニュアルを策定し、これに基づき訓練等が実施されている。今後も避難訓練等を定期的に実施し、非常変災に備えられたい。</p> <p>理科等薬品の管理については、令和3年9月27日付けで教育委員会から管理要綱に沿った運用の徹底について各学校に通知がなされているが、点検の未実施、薬品使用簿の記載不備等が見られるため、改めてその運用方法等について改善されたい。</p> <p>個人情報保護の状況については、令和4年2月15日付けで教育委員会から通知された「糸島市教育情報セキュリティポリシー及び教育情報セキュリティ実施手順」に基づき管理されていた。個人情報の漏えいは児童・生徒等に重大な被害を及ぼすおそれがあることから、今後も管理を徹底されたい。</p> <p>学校徴収金の取扱いについては、令和3年度定期監査における「その管理方法等については、一定の基準が必要と考える」との指摘に対して、令和4年3月末までに検討を行うとのことであったが、新型コロナウイルス感染症の影響により未実施となっていた。引き続き検討いただきたい。また、就学援助費の校長名義口座入金後の学校徴収金としての取扱いに差異が見られることから、上記の検討とあわせて一定の整理が必要であるとする。</p> <p>公印使用の事務処理については、令和3年度定期監査における「統一した手順の整備が必要と考える」との指摘に対して、令和4年3月末までに検討を行うとのことであったが、新型コロナウイルス感染症の影響で未実施となっていた。引き続き検討いただきたい。また、公印使用簿が作成されていなかった一部の公印については適正な事務処理に改められたい。加えて、糸島市教育委員</p>	<p>非常変災時の対応については、今後も危機管理マニュアルに基づいた訓練等を実施し、引き続き適切に対応するように努める。</p> <p>理科等薬品の管理については、管理要綱に基づく運用の徹底を周知しているものの、学校定期監査において、毎年指摘されていることから、運用が徹底されるまでの間、毎年4月に理科教育担当者の研修を実施するとともに、研修内容について、研修受講者から管理職への報告を徹底することで、点検・保管・管理等の徹底を図る。</p> <p>個人情報保護の状況については、今後もセキュリティポリシー及び実施手順に基づき、引き続き適切な管理に努める。</p> <p>学校徴収金の取扱いについては、令和5年1月末までに各学校の現状を把握し、まずは、令和5年3月末までに、どのような基準を整備することが必要か検討を行う。</p> <p>あわせて、就学援助費の取扱いについても、学校徴収金の取扱いを整理する中で検討を行う。</p> <p>公印使用の事務処理については、令和5年1月末までに各学校の現状を把握し、各学校の事務処理環境を踏まえながら、令和5年3月末までにどのような統一手順が必要かについての検討を行う。</p> <p>また、公印使用簿の未作成については、学校長が保管する全ての公印について、使用簿を作成するよう令和4年11月末までに通知し、周知徹底を図る。</p> <p>さらに、糸島市教育委員会公印規則第5条第2項に規定する教育総務課長による点検については、令和4年11月末までに実施時期及び実施方法を決定し、適正な事務処理に努める。</p>

令和4年度監査結果報告書（市立小中学校定期監査）に基づく改善策及び顛末

指摘事項及び意見等	主管課における措置、処理の経過及び対応策
<p>会公印規則第5条第2項の規定に基づく点検について、適正な事務処理に努められたい。</p> <p>なお、個々の軽微な指摘等の留意事項については、別途教育委員会へ通知した。</p> <p>3 まとめ</p> <p>監査の実施にあたっては、事前に関係書類等を提出していただき、予備調査を実施のうえ実査を行った結果、各学校において円滑な監査を執行することができた。</p> <p>各学校では、児童・生徒一人に1台配備されたタブレット端末を積極的に活用し、オンラインによる授業、調べ学習、学習教材ソフトウェアを利用した個々の理解度に合わせたドリル学習、ウェブアプリケーションによる児童・生徒間の意見交換、交流活動など、ICT教育が実践されていた。</p> <p>また、コロナ禍による様々な制限の中、家庭訪問に代えてオンラインでの保護者面談の実施、運動会における各教室へのライブ配信など、各校で創意工夫し、教育の充実に努められていた。</p> <p>各校において、オンライン環境の設定や情報セキュリティに関する職員研修の実施等にICT支援員による支援を活用されており、今後、ICT教育を進めていく上で、支援の必要性はますます大きくなるものと感じられた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症については長期的な対応が求められることが見込まれるため、今後も学校における感染リスクに注意のうえ、児童・生徒の健康と安全に配慮いただき、学びの保障のための継続的な取組をお願いする。</p> <p>以上のとおり、令和4年度定期監査結果について記述したが、それぞれの指摘事項を念頭におかれ、今後とも安全かつ円滑な学校運営に努められるよう望むものである。</p>	<p>今後、ICT支援員による支援の拡充などにより、児童・生徒一人に1台配備されたタブレット端末を活用したICT教育を進め、各校の創意工夫による教育の充実に努めていく。</p> <p>また、ICTの活用などコロナ禍での工夫が進んだ新しい実施方法も含め、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、安全かつ円滑な学校運営に努めていく。</p>